

学びの部屋 ～4年生～社会科「とどけよう命の水」

社会科「とどけよう命の水」では、玉川上水の開削に尽くした玉川兄弟の業績について、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目しながら体験をしたり資料で調べたりしました。工事の様子や想像図を読み取って気付いたことを話し合いました。「大勢の人々で一斉に工事をしている」「指示を出している人がいる」「今は機械を使って工事をしているけれど、昔はほとんど手作業で工事をしていた」などの様々な意見がでました。また、昔の工事でも使われていた鍬や籠などの道具を実際に持ち、工事をしていた人々の大変さも実感できました。

この学習を通して玉川兄弟が苦心や努力を重ねて玉川上水を開削したことで、江戸の人々の飲料水が確保され生活はより豊かになったことや、玉川上水を守るために人々の工夫や協力が続けられていることが分かりました。この学習のまとめでは、当時の江戸の人と現代の人の視点に立って分かったことを新聞にまとめました。

(釣 将大)



学びの部屋 ～4年生～図画工作科「つなぐんぐん」

12月は「つなぐんぐん」をしました。細長く巻いた新聞紙をつなげて立体作品を作る学習です。

初めに新聞紙を指先で丸め、それを机と手のひらの間で転がして細く巻いていきます。慣れるまではなかなかむずかしい作業ですが、全員ができるようになると、集中して大量に巻き「きもちいい!」「できた!」の音があちこちからあがりました。家から新聞紙を持参して休み時間に図工室で作る様子もあり、細く巻いた新聞紙で図工室がいっぱいになりました。

立体作品は、ワールドルームで行いました。まず丈夫な土台をつくり、更にグループ同士で合体させることで大きく組み立てました。どんどん大きくなる作品に歓声があがりました。それぞれが役割を持ち、協力して作ることができました。あつという間の楽しい2時間でした。

図画工作科では、学年が進むに従いより高度な技能になる題材が設定されています。この活動は5年生の「立ち上がり!ワイヤーアート」(針金の学習)につながります。来年この学習がどのような形に発展していくのか、今から楽しみです。

(井波 尚子)



道徳授業地区公開講座について

1月16日(土)と23日(土)に予定しておりました「道徳授業地区公開講座」ですが、新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言を踏まえ、授業公開を中止することとなりました。様々な準備を行ってまいりましたので私共も残念ではありますが、皆様には御理解を賜りたく存じます。

学習指導要領の改訂に伴い、私共は日々の授業から「道徳の教科化」を図る指導の改善や工夫を行ってきました。一人一人の子供たちがそれぞれの学習活動で扱う道徳的価値を自分事として捉え、「考え、議論する道徳」となる授業を展開する、というものです。今回も「問題解決的な学習を取り入れる」や「役割演技や動作化を行う」、「葛藤場面を大きく取り上げて児童同士での議論を促す」などの様々な工夫をし、児童が友達との関わりの中で自分の考えを深められるように計画しておりました。今回は皆様に直接御参観いただけませんが、これからも「考え、議論する道徳」を目指して平素の授業実践を行ってまいります。

なお、今回の道徳授業地区公開講座に向けて立案した学習指導案集は後日配布いたしますのでお目通しいただければと思います。また、この学習指導案に基づいて実践した授業の成果については、後日お伝えいたします。

(石嶋 賢)